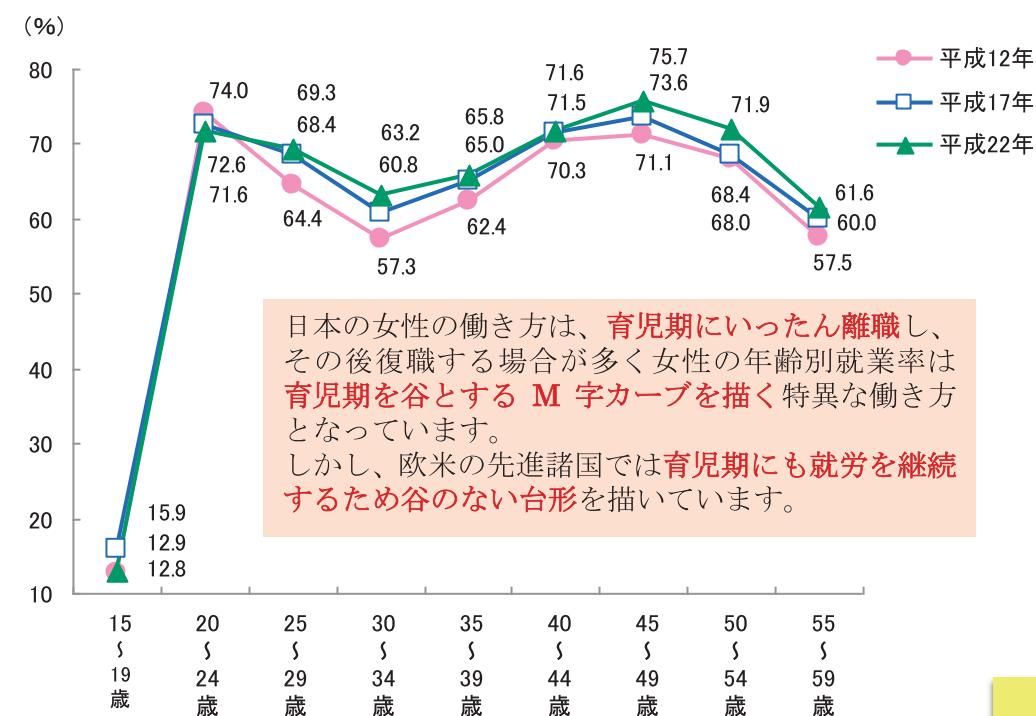


女性の労働力率（岩国市）
（年齢別就業率）



Fight! 女の活躍・男の活躍 新たなステージへ

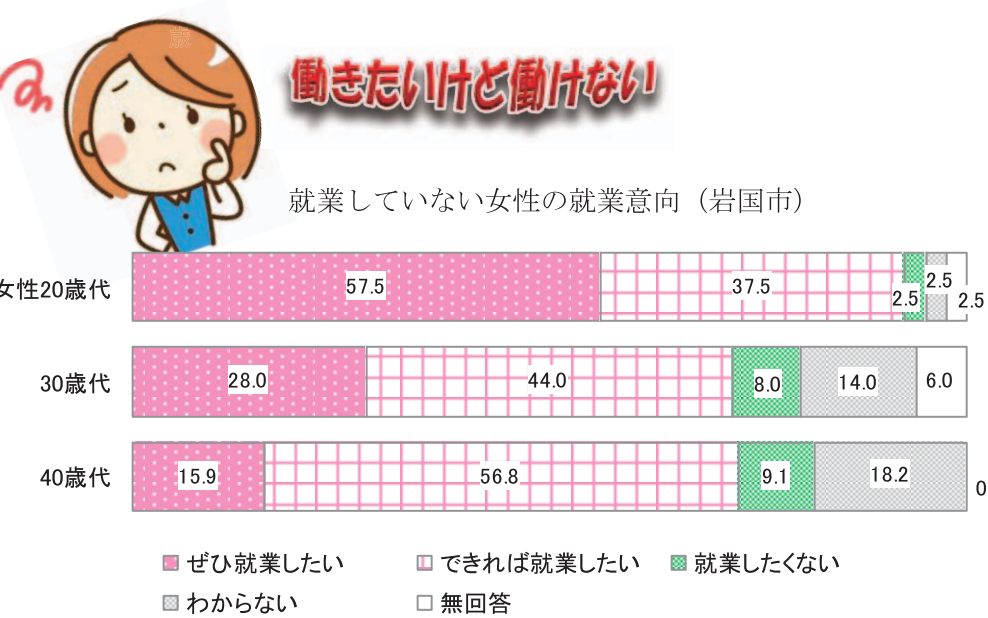


ワーク・ライフ・バランスの推進！

仕事・家庭・地域活動や自分の趣味など、何を優先したいかは個人によって異なります。
自分の暮らし方を見直し、自らが望むバランスで家庭生活や地域生活を過ごすことができれば、日々の生活が充実し豊かな暮らしにつながります。
子育て期や中高年期といった変化するライフステージに合わせて、仕事上の責任を果たすとともに、働き方も変えることができる社会の実現が必要となってきています。
（ワーク・ライフ・バランスとは、仕事と生活の調和です）

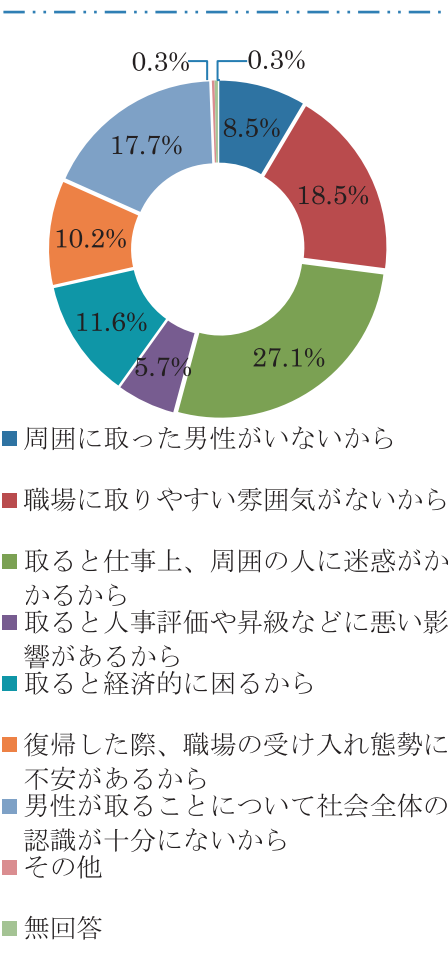
社会には能力もやる気もあるのに、それが活かされていない女性がたくさんいます。
その能力や才能が活かされないのはもったいないことです

女性が輝くためには自分のやる気や責任感などの気持ちも必要です。
どうやって生きていきたいのかを悩んだとき、一歩踏み出すことで自分が何をやりたいのか、何に興味があるのかに気づき、自分らしく生きることができるのだと思います。
男性も輝く努力をすることによって、お互いがより輝きあえるのです。



男性の育休取得 職場の理解がカギ

男性が育児休業制度などを利用しない理由（岩国市）



イクメンという言葉はかなり浸透してきました。父親が保育園の送り迎えをしたり、子どものオムツ替えを行うなど、男性が積極的に育児に関わり、その責任や楽しみを夫婦で分かち合おうとする「イクメン」の姿が多くみられるようになりました。

しかし、子育てに積極的にかかわりたいと思う男性の中には育児休業等の制度を活用しにくい雰囲気や、周囲が残っていると退社しにくい雰囲気があると感じている人も多いようです。

もうすぐ子どもが生まれます！

子育て社員
上司が後押し

これから子どものために
残業もしっかりやって
稼げよ！

イクボス
イクメン

これからは、仕事のやり方を考えて、家族のために少しでも早く帰らないと！

NICE!

子育て中の社員を理解し活躍を後押しできる上司を**イクボス**といいます

「イクボス」のほか、育児に関わる祖父を表す「イクジイ」も活躍しています

活力ある地域社会を築くためには

岩国市の審議会等に占める女性委員の比率

年度	審議会委員数	内女性委員数	女性委員の比率
H19	882	174	19.7%
H23	874	185	21.2%
H26	1,217	282	23.2%

（各年4月1日現在）

岩国市の審議会等委員に占める女性の比率は、わずかず上昇するものの低い状況です。男女双方の意見を市政に反映させることは、多様な人材の能力の活用、多様な視点の導入などの観点から重要なことであり、平成29年度までに女性委員を30%以上にすることを目標に取り組んでいます。
この取組の一つとして、委員の公募制を進めております。募集は市広報紙等でお知らせしますので女性の方も積極的にご応募ください。

